

# 食べる CO<sub>2</sub>削減 CFPで食の選択を考えよう

気候変動は人類最大の脅威の一つです。全世界のCO<sub>2</sub>排出量590億tの34%は電力等のエネルギー利用ですが、22%を農林水産業が排出しています。また、590億tの15%を占める交通燃料と同じ量を畜産業が排出しているといわれています<sup>※</sup>。いずれも、食料生産に深くかかわっており、私たちの日常の食の選択の変化が温暖化問題の解決につながります。水産、特に天然近海魚はCO<sub>2</sub>排出量が相対的に低く、伝統的な魚食・和食は健康につながり、米食を中心とした国内の農漁村再興・国土保全につながっていくことが期待されます。

<出典>  
IPCC, 2021, Sixth Assessment Report (AR6).  
<https://www.ipcc.ch/assessment-report/ar6/>  
FAO, 2017, Livestock solutions for climate change.  
<https://www.fao.org/family-farming/detail/en/c/1634679/>

CFP(カーボンフットプリント)は、私たちの日常活動によって直接・間接に排出される二酸化炭素その他温室効果ガスの総量を計算したものです。CFPの値を食の選択の参考にしてみてください。

提供  
期間

2024年  
1月22日(月)～1月26日(金)

提供  
店舗

本郷キャンパス 中央食堂、メトロ食堂、第二食堂、農学部食堂  
駒場キャンパス 駒場食堂2階

CFP 390g-CO<sub>2</sub>e



銚子直送

オイルサーディン丼

税込  
組合員価格 ¥495  
(本体価格¥450・税額¥45)

今回の取り組みを協力・連携して進めている千葉県・全銚子市水産加工業協同組合から直送されたふっくら味わい深いオイルサーディンを使用しています。

CFP 460g-CO<sub>2</sub>e



大豆ミートを使用した

Nextキムチカルビ丼

税込  
組合員価格 ¥495  
(本体価格¥450・税額¥45)

CFPの値が高くなる畜肉を使用せず大豆ミートを使用したカルビ丼です。



炭素排出量:  
390g-CO<sub>2</sub>e



炭素排出量:  
530g-CO<sub>2</sub>e



炭素排出量:  
730g-CO<sub>2</sub>e

## ■表示の見方

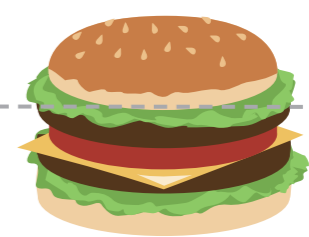
炭素排出量の大きさに応じて、緑(低)、黄(中)、赤(高)の順に3段階に色分けしたラベルを、一部メニューに貼ってあります。絵文字の表情も変え、わかりやすく人目を惹くデザインを目指しました。GXSN(秋山知也)

あのメニューのCFP値は?



鯖みそ煮定食	410g-CO <sub>2</sub> e	チキン竜田丼	530g-CO <sub>2</sub> e
きつねそば	380g-CO <sub>2</sub> e	辛みそ豚丼	730g-CO <sub>2</sub> e
グリルチキン(ライス付)	420g-CO <sub>2</sub> e		

国内の代表的なハンバーガー 2,350g-CO<sub>2</sub>e



## CFPの計算方法

東大生協食堂のメニューに基づき、各食材の生産、運搬、加工、そして生協食堂内での調理過程で発生する温室効果ガスを計算しました。使用したソフトは産業技術総合研究所のIDEA (Inventory Database for Environmental Analysis) を組込んだMiLCAであり、オイルサーディンとサバの味噌煮に関しては、実際の生産現場に出向いて得た新規のデータを入力し計算を行いました。

大学院農学生命科学研究科国際水産開発学研究室(李朋龍)



東京大学大学院 農学生命科学研究科  
教授 八木 信行 先生

食品を生産する際の温暖化ガス排出量を計算した研究は複数あります。これらの研究では、牛肉や羊肉などで排出量は高く、豚肉もやや高め、鶏肉などは中くらい、豆類、穀物、いも類は低い傾向が示されています。水産物は種類によって概ね中くらいから低いレベルの排出量で、中でも一番低いのがサバやイワシなどの小型の浮き魚類です。国産のサバやイワシについては我々研究室でも温暖化ガスの排出量を計算していますが、海外での研究例と同様の結果が得られています。

■主催: 東京大学消費生活協同組合・銚子発・CFPの見える水産加工品流通促進協議会

■協力: 東京大学大学院農学生命科学研究科国際水産開発学研究室、東京大学GX学生ネットワーク(GXSN)、海洋アライアンス連携研究機構

※本事業は、銚子発・CFPの見える水産加工品流通促進協議会の協力のもとに実施しており、同協議会の取り組みは令和5年度水産庁バリューチェーン改善促進事業に採択されています。

協議会のメンバーである全銚子市水産加工業協同組合のホームページもご参照ください▶

